

長野県(県民文化部)プレスリリース 令和8年(2026年)3月10日

長野県立歴史館 令和8年所蔵品展 「長野県民の戦後再出発」 オープニングセレモニーを行います

長野県立歴史館では、令和8年所蔵品展「長野県民の戦後再出発」を開催します。
これに先立ち、オープニングセレモニーを行います。

1 オープニングセレモニー

- 日 時 令和8年3月13日(金) 16時から17時まで
- 会 場 長野県立歴史館 2階 企画展示室前
- 来 賓 長野県議会議員 荒井 武志 氏
長野県議会議員 竹内 正美 氏

2 一般公開

- 開催期間 令和8年3月14日(土)から6月14日(日)まで
〔休館日 月曜日及び祝日の翌日〕
- 開館時間 9時から17時まで(入館は16時30分まで)
- 観 覧 料 企画展のみの場合：一般300円、大学生150円、
(高校生以下又は18歳未満、県内に所在する大学の学生等は無料)

3 関連行事

- 講演会、ギャラリートーク等を開催します。
内容や日時の詳細は歴史館ホームページをご覧ください。<https://www.npmh.net/exhibition/>

展示の見どころ

終戦の日として知られる「昭和20年8月15日」以降も、人々の生活は依然として戦争の影響を強く受け続けました。その一方で、こうした状況のなかから、自由で民主的な新しい社会への扉も開かれていきました。本展では、当館所蔵の初公開史資料を中心に展示し、戦後、懸命に歩みを進めた長野県民の姿を追います。

まず、満洲やブラジルへ移民として渡った長野県出身者の歩みを資料からたどり、日本から遠く離れた地で生きた人々にとって、終戦はどのような意味を持ったのかを考えます。

また、GHQによる占領統治下の混乱の様子や、長野県連合青年団の活動、新憲法の公布や普通選挙の実施といった民主化の過程で活躍した女性の姿、さらには浅間山の米軍演習地化反対運動など、戦後復興の担い手となった人びとの様子を示す資料を通じて、長野県民にとって「戦後」とは何であったのかを問い直します。

戦後、新しい時代と向き合いながら、「再出発」へと力強く歩みを進める長野県民の姿を通じて、平和と未来について考えていただければ幸いです。

【問合せ先】

担 当 県民文化部文化振興課文化財係 赤津、石原
電 話 026-235-7382(直通)
026-232-0111(代表) 内線3573
E-mail bunkazai@pref.nagano.lg.jp

【問合せ先】

担 当 長野県立歴史館 総合情報課 水澤、飯島
電 話 026-274-3991
FAX 026-274-3996
E-mail rekishikan-sogojoho@pref.nagano.lg.jp